珠玉の市民文芸を結集

文芸祭奨励賞の作品を紹介

市民の文芸作品の発表の場として、毎年「文芸にいつ」が発刊されています。昭和五十一年の第一号から数えて今年は第十九号。号を重ねるごとに投稿者の幅も広がり、深みのある作品が多数寄せられるようになりました。今号から数回にわたり、今年の各部門の奨励賞作品をご紹介します。なお、受賞者の言葉は、文芸にいつに掲載の「受賞者寸感」の一部を抜粋したものです。

短歌

この度、はからずも私の凡作が栄えある奨励賞を受賞させていただき望外の喜びと感激で一杯でございます。先輩諸氏の御高説や御指導に奥の深さを知るにつけ、戸惑うことのみ多い昨今ですが、精進せよとの温かいお励ましと受けとめて、受賞を明日への指針とし、今後も詠み続けたいと思います。

淡き命

笠原　きよみ（北上新田）

花びらの舞ひつつ散るを掌に受けてしばし愛しむ淡き命を
燃えさかる情熱みせてサルビヤは強き日差しに照りて咲き継ぐ
空色の勿忘草の咲く盛り姉逝きてより悲しそのいろ
生垣に白き木槿のあまた咲くこの路今日も遠廻り来し
あたたかき心こもれる便り来て花殻を摘む風もやさしき

俳句

四季折々の豊富な素材を身近にして活かす術も知らず見ても見えず感動をすぐに表現する努力もせず、吟行は目を休める為と言い風景を楽しみとどのつまりは呻吟空しく時間切れとなる始末、そして喉元過ぎればの繰り返しですから、受賞は真に嬉しくもあり、また後ろめたくもありの心境です。

長崎

関塚　八千穂（新町一）

夏暁やぼてふりの行く石畳
爆心地跡に若者氷菓食む
白南風の知覧にガイドの声湿る
貸馬に乗り損ねたる阿蘇青野
神話みな真しやかに曼陀羅華

川柳

奨励賞の通知を戴き、夢ではないかと驚いています。先日、新聞の片隅に、秋の灯や今日は酔ってもいい相手　伸郎　という句を読んで素晴らしいと思いました。上五の「秋の灯や」で俳句なんだと思いますが、後は川柳のような気がします。こういうありふれたことを誰にも分かるように平々凡々とうたっていきたいと思います。

女の弱音

石山　民子（金沢町三）

見舞いから帰り幸せだと思う
信用と言う財産を子に残す
ひと言が心に明かり点けてくれ
幸せの種は自分でまいておく
鏡台に女の弱音塗りつぶし

随筆

文章の世界も時代と共に変ってゆくのでしょうが、私はただ平明に、楽しい文が書けるよう、そして奨励賞はますます励めという御趣旨でしょうから、期待にそむかぬようこれからもなおいっそう努力を重ねてゆきたいものと思っております。ありがとうございました。

虫と少年

坂井　第二（滝谷町）

台所で母と子が話しあっている。
「お母さん、何してるの」
「ゴキブリがいっぱいいるからね、退治しようと思ってさ」
「ふーん」
ゴキブリホイホイを台所の隅々に配置しながら母の声、
「ほんとにどこから来るんだろね」
「お母さんいつも玄関の戸開けておくから、そっから来るんじゃない」
「そうかねえ」
「そうだよ。そうにきまってるさ、『ただいま!』って言って入ってくるよ」
「喜ぶにきまってるさ」
団子虫をしっかり握り締めた少年は元気よく友達とつれ立って学校へ行った。
夕方「ただ今」と元気な声に飛んで出て「おい今朝の虫どうした」と聞くと「目まわして死んでしまった」という。温かく湿っぽい掌にしっかり握られた団子虫君は、それこそ法悦歓喜の果て、あの世へ行ったのであろう。
少年に長い夏休みがやってきた。
捕虫網を持って庭先をうろうろする日が続く。夏休一研究は昆虫採集だという。「あれっ、おまえ去年もやったんじゃなかったか」というと、「いいの今年もやるの」「そうか、それじゃおじいちゃん昆虫図鑑をプレゼントしようか」「うん」。しかし部屋の隅のダンボール箱には、翅のもげたトンボ、蝉の死骸や抜けがらが二つ三つころがっているだけだ。（以下略）

タが一人で御這入りになるなんて、――バッタに御這入りになられてたまるもんか」とますますいきり立つ。

××　　××

わが家は、暑い日は終日玄関の戸を開けっぱなしにしておくが、ゴキブリ如きに、やたらなれなれしく「ただいま!」なんぞ言って這入ってこられちゃたまったものではない。
登校の朝玄関先で「おじいちゃん、来て」と大きな声に何事ならんと出てみると「ほら見て、団子虫」とつき出した少年のふっくら肉厚で温かい掌に小さな虫が気持よさそうに這い廻っている。
「ね、僕と遊ぼうと言ってるよ」
「ほう、ほんとかい、これどうするの」
「うん、学校へ持って行って先生にあげる」
「そうか、先生喜ぶろかな、いらねって言うろかな」

聞いて私は思わず吹き出した。そして漱石の「坊っちゃん」の一場面を思い出した。

××　　××

坊っちゃんが宿直の夜、いたずら生徒が宿直室の寝床にこっそりバッタ（坊っちゃんはバッタと言うが生徒はイナゴだと言う）を入れておく。坊っちゃんが腹を立てて何故バッタを入れたと言うと「そりゃ、イナゴぞな、もし」と言う。そして「イナゴは温い（ヌクい）所が好きじゃけれ大方一人で御這入たのじゃあろ」という。坊っちゃんは「馬鹿ぁ言え、バッ

お買物、ご用命は市内で

お歳暮に 故郷の味覚
冬梨の王様 新興梨
洋梨の女王 ル・レクチェ
◎只今地方発送承り中!
フルーツ&ギフト やまいし
本町2（新光商店街）
TEL 23-0397
FAX 23-3158

JEWELRY・GLASSES・WATCH
NOMOTO
SINCE 1909
年内は休まず営業致します
宝石展示会
野本 12月1日(木)～5日(月)
〒956 新津市本町3丁目8-4 TEL.(0250)22-0070(代)

お買物、ご用命は市内で

楽しい絵付きお皿(16cm)です
★ご予約プレゼント!★
12月18日(日)までにクリスマスケーキご予約のお客様に素敵な「ケーキ皿」をプレゼント。どうぞお早目に!
忘・新年会・年越そば
予約承り中!
本町4 チューリップ店会 お店紹介
高田屋小路
そば処 ますだや
TEL 24-8595 24-6315
ニイガタ オオサカヤ
新津店 新津市本町1-6-11 ☎22-1833
新津本町店 新津市本町4-2-2 ☎24-1347